

# 仙台市自動車運送事業経営改善計画

令和2年度実施結果・評価

# 目次

## 1 お客様サービスの向上

### (1) 便利で利用しやすいサービスの提供

- ① 定時性の向上に向けたダイヤの編成（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 地下鉄等との連携強化によるサービスの向上（輸送課）・・・・・・・・ 2
- ③ ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実  
（経営企画課・業務課・輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ④ バス待ち環境の向上（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### (2) 安全・快適なサービスの提供

- ① 運転技術の向上と安全運行の徹底（業務課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 接客教育の充実による接客サービスの向上（業務課）・・・・・・・・ 6
- ③ 人とまちに優しいバス車両の導入（整備課）・・・・・・・・・・・・ 7
- ④ 災害対応訓練の実施（業務課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

## 2 安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築

### (1) 増客・増収に向けた取り組み

- ① 市バスの利用促進に向けた取り組み（経営企画課）・・・・・・・・ 9
- ② 新たな需要の捕捉と取り込み（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 10
- ③ 運賃制度及び運賃水準の検討（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 11
- ④ 広告料収入の確保（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 12
- ⑤ 親しみの持てる市営バスへの取り組み（経営企画課）・・・・ 13
- ⑥ 資産の有効活用（業務課・財務課）・・・・・・・・・・・・ 14

### (2) 効率的経営に向けた取り組み

- ① 人件費の抑制に向けた取り組み（総務課）・・・・・・・・・・・・ 15
- ② 管理の委託の継続的な活用（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 16
- ③ 利用状況に応じた運行の効率化（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 17
- ④ バス車両にかかる投資額抑制（整備課）・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑤ 施設の効率的な管理・更新（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑥ 燃料費・光熱水費の節減（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 20

### (3) 組織の活性化に向けた取り組み

- ① 乗務員の安定的な確保と育成（総務課・業務課）・・・・・・・・ 22
- ② 業務への意欲を高める取り組み（総務課・業務課）・・・・ 23
- ③ 職員の意識の向上と働きやすい環境づくり（業務課）・・・・ 24

## 個別計画概要

番号	1-(1)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	定時性の向上に向けたダイヤの編成

## 担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	道路渋滞などの走行環境を考慮したダイヤ編成によって各バス停の時刻表と実際の運行におけるバス停通過時刻の差を解消し、バスの定時性を高めることでバスの利便性向上を目指す。
--------	---

内容	・運行区間ごとに状況を把握・分析し、道路渋滞などの走行環境を考慮した適切なダイヤ編成を実施する。
----	--

## 令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・令和2年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況や遅延状況を確認し、時刻表の見直しが必要となる停留所では、次回のダイヤ改正時で実態にあわせて見直しを行い、定時性の向上を図る。 ・終点における10分以上の遅れを前年度6月測定値より1%以上縮減するように努める。
------	---

事業実績	・令和2年4月ダイヤ改正後、「終点における遅れ10分以上」の割合：令和2年度6.6%（10月実績10.0%）、令和元年度16.9%、平成30年度14.8%、平成29年度15.8%、平成28年度21.7%）。 ・令和2年4月ダイヤ改正後、「終点における遅れ5分未満」の割合：令和2年度64.6%（10月実績57.0%）、令和元年度41.2%、平成30年度44.2%、平成29年度44.7%、平成28年度38.7%）。 ・令和2年4月ダイヤ改正後の運行状況や課題の把握をし、それに基づく通過時刻の見直しを令和3年4月ダイヤ改正時に実施した。
------	--

評価	計画通り進んでいる（成果が上がっている）
----	----------------------

備考	
----	--

個別計画概要

番号	1-(1)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	地下鉄等との連携強化によるサービスの向上

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	バス、地下鉄等とを乗り継いで利用しやすいダイヤ設定に取り組むことにより、市バスと地下鉄とを組み合わせた移動の利便性向上を目指す。
--------	--

内容	・バスと地下鉄・JR線との乗り継ぎを考慮したダイヤを設定する。
----	---------------------------------

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・地下鉄・JR線の駅を運行するバス路線について、令和2年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況等を確認し、バスから地下鉄等、地下鉄等からバスにより乗継しやすい時刻設定に努める。
------	---

事業実績	地下鉄とJRの時刻に合わせたバスのダイヤ改正を実施し、より乗り継ぎしやすい時刻設定を行った。
------	--

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実

担当課係

経営企画課 業務課 輸送課	企画係・営業推進係 庶務係 管理係
---------------------	-------------------------

目的・必要性	インターネット等を活用した分かりやすい情報提供に努めることにより、バス・地下鉄に関する様々な情報を手軽に入手できる便利なサービスの充実を目指す。
--------	--

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通局のホームページや配付物などを通じ、市営バスの運行情報や運賃のご案内に加え、各種イベント情報など、様々な情報をお知らせする。</li> <li>・「どこバス仙台」及び「せんだい市バス・地下鉄ナビ」をそれぞれインターネット上で運用する。</li> <li>・ホームページ等の多言語表記を充実させる。</li> </ul>
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこバス仙台」の運用により、バスの接近状況や混雑状況等をリアルタイムに提供する。また、機能改修により、接近情報一覧画面の案内項目として個別便の遅延状況を追加する。</li> <li>・「せんだい市バス・地下鉄ナビ」の運用により市営バスや地下鉄での移動に係る経路・運賃・時刻表等の情報を提供する。</li> <li>・令和3年4月に市営バスの運行情報等のオープンデータ化を実施し民間活力を利用しながらさらなる検索機能の充実を図るため準備を進める。</li> </ul>
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこバス仙台」の機能改修(個別便の遅延状況追加、リアルタイム乗車人数の表示、個別便の通過停留所の表示)を行った。</li> <li>・「せんだい市バス地下鉄ナビ」を年間を通じて運用した。</li> <li>・市営バスの運行情報のオープンデータ化に向けて、GTFS-JP形式により静的な運行情報(停留所、ダイヤ、運賃等)のデータ作成を行った(予定どおり令和3年4月1日に仙台市のポータルサイトに掲載した)。</li> <li>・Twitterを運用し、運行情報やイベント情報等の情報発信を行った。</li> <li>・バスナビサーバーのサーバー基盤メンテナンス作業時に、「どこバス仙台」の利用画面に運行情報が正しく表示されないなどの不具合が発生した。(令和2年9月30日)</li> </ul>
------	---

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-④
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	バス待ち環境の向上

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	バス停留所の上屋の設置・修繕において、お客様の利用実態を把握をすることにより、ベンチの設置の有無などお客様が安心かつ快適にバスを待つことが出来る環境整備を進め、バスの利便性向上を目指す。
--------	---

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停留所上屋の設置・修繕や、電照式バス停留所等の着実な整備を進める。</li> <li>・時刻表の文字を大きくするなど、停留所掲示物の表示方法の工夫を行う。</li> </ul>
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷みがひどいバス停留所の上屋の修繕補強、塗装工事等を行い、バス待ち環境の向上を図る。</li> <li>・広告付上屋を含むバス停留所上屋の設置や、LED電照式標識の設置により、快適なバス待ち環境の整備を進める。</li> <li>・計画数 上屋設置(5棟)／宮城野三丁目・聖和学園前(上)、尚綱学院中学高校前①、日赤病院前③、银杏町①、白萩町(上)</li> <li>・計画数 上屋修繕(8棟)／中山入口(上)、窪(上)、長命ヶ丘一丁目東(上)、白沢駅前(上)、定禅寺通市役所前(下)、八木山神社前(上)、宮千代三丁目(上)、中田一丁目(長町向け)</li> <li>・計画数 電照式停留所標識(8基)／仙台高校南(上)、中江一丁目(上)、荒巻小学校前(上)、西高校入口(下)、聖和短大③、宮町・東照宮駅前(上)、燕沢東(上)、原町一丁目(下)</li> </ul>
------	---

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上屋設置(3棟)／日赤病院前③(新設)、上飯田三丁目①(更新)、東仙台小学校前(更新)</li> <li>・上屋修繕(8棟)／中山入口(上)、窪(上)、長命ヶ丘一丁目東(上)、白沢駅前(上)、定禅寺通市役所前(下)、八木山神社前(上)、宮千代三丁目(上)、中田一丁目(長町向け)</li> <li>・電照式標識(8基)／仙台高校南(上)、中江一丁目(上)、荒巻小学校前(上)、西高校入口(下)、聖和短大③、宮町・東照宮駅前(上)、滝道入口(上)、原町一丁目(下)</li> <li>・広告付き上屋設置(0基)</li> </ul>
------	---

評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
----	----------------------------

備考	<p>【原因】新型コロナウイルス感染症の影響で広告収入が減少し、設置事業者の収支が悪化したことにより、広告付き上屋の令和2年度新規設置の計画を変更したことで、上屋設置の取組目標に対して未達となった。</p> <p>【対応策】交通局から広告付き上屋設置事業者に対して、関係官公庁との調整など、引き続き協力・支援を継続する。また、設置事業者とともに計画期間内120基の設置が完了するよう計画の見直しを図る。</p>
----	---

個別計画概要

番号	1-(2)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	運転技術の向上と安全運行の徹底

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	乗務員の運転技術の向上と安全運行の徹底に向けた研修などにより、事故防止に取り組み、安全性の更なる向上を目指す。
--------	---

内容	様々な研修の実施を通して、乗務員の運転技術の向上や安全に対する意識の浸透を図り、有責事故発生件数の減少を目指す。
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有責事故抑止目標件数 74件</li> <li>・10万kmあたりの有責事故抑止目標 0.48件</li> </ul> <p>平成23年度～28年度の10万キロあたりの有責事故件数の平均値(0.52)を29年度の目標とし、以後、新経営改善計画期間中、毎年2.5%減少させ、最終年度となる令和3年度には10%減となるよう設定した。</p>
------	--

事業実績	<p>【有責事故抑止目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有責事故抑止目標74件に対し、88件(令和元年度106件) ・10キロあたりの有責事故抑止目標 0.48件に対し0.53(令和元年度0.63件)</li> </ul> <p>【研修実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故削減プロジェクト研修175名／るーぷる仙台兼任乗務員研修8名／るーぷる乗務員研修11名／再任用乗務員研修15名／正職員採用時研修23名</li> <li>／副所長・運行管理者研修44名／乗務経験1年次研修30名／新人乗務員のフォローアップ研修／新任運行管理者研修4名</li> </ul>
------	--

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
----	--------------------------

備考	
----	--

個別計画概要

番号	1-(2)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	接客教育の充実による接客サービスの向上

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	乗務員への接客研修の充実などにより、接客サービスを向上させ、より快適にご利用いただけるサービスの提供を目指す。
--------	---

内容	乗務員への様々な接客研修を充実させることにより、市バスモニター制度の平均評価の向上及び年間苦情件数の減少を目指す。
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>市バスモニター平均点 35.9点 平成29年度目標の32.6点を目標値と設定し、計画最終年度には10%増を目指すことを目標に各年度取り組む。平成30年12月時点で平成30年度の目標値33.4点を上回る平均値となっていることを踏まえ、令和元年度以降の目標値を1年ずつ前倒しすることとした。</li> <li>年間苦情総件数 60件以内 平成29年度の数値目標を定めた後、令和3年度まで、各年度2.5%減とし、計画最終年度までに10%削減を目指す数値目標を設定した。</li> <li>毎月の営業所での取組項目のうち、案内用語の徹底を図る。</li> </ul>
------	--

事業実績	<p>【市バスモニター制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市バスモニター平均点目標35.9点に対し、令和2年度市バスモニター平均点35.8点</li> </ul> <p>【賞揚・苦情件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間賞揚件数 140件(前年度同比-36件)</li> <li>年間苦情件数目標60件以内に対し74件(前年度同比+45件)</li> </ul> <p>【指導・研修関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>添乗件数1,422件(直営489件 委託先933件) ・接客サービス向上(CS)研修 76名受講(うち委託先管理要員5名)</li> </ul>
------	---

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	<p>【賞揚と苦情】令和2年度接客優良者のうちベテラン乗務員(平成17年以前採用)が約25%(160名中40名)であり少ない。また、モニター平均点において局全体としては、ここ数年上昇傾向にあるが、賞揚件数で委託事業所がすべての事業所で前年度より減少(委託事業所全体で▲22件)した。苦情についても、委託事業所がすべての事業所で前年度より増加(委託事業所全体で+32件)した。</p> <p>【対応策】ベテラン乗務員については、今年度の接客・接客研修において、令和2年度接客優良者のベテラン乗務員の割合が少なかったことを課題として共有することで、接客接客の意識向上を図っていく。</p> <p>委託事業所については、今年度から委託事業所管理要員にも当局主催の接客・接客研修に参加を呼びかけ、伝達研修にて乗務員の接客・接客意識向上を図り苦情の減少に繋げてまいりたい。</p>



## 個別計画概要

番号	1-(2)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	人とまちに優しいバス車両の導入

## 担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	高齢者や障害のある方でも乗り降りの負担が少ない、かつ、排出ガスによる環境負荷の少ないバス車両の導入により、人にもまちにも優しいバスサービスの提供を目指す。 導入から15年以上経過し老朽化による故障も発生しているLED行先表示器について、白色LEDを使用しより明るく遠くからでも見やすい機器に更新する。
--------	---

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある方も乗り降りしやすい、国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバスを計画的に導入する。</li> <li>・LED行先表示器を令和3年度より計画的に更新する。</li> </ul>
----	--

## 令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップ装置付きノンステップバスを25両導入する。</li> <li>・LED行先表示器については、令和3年度からの更新に向けて令和2年度に更新機器の仕様及び総事業費の決定に取り組む。</li> </ul>
------	---

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップ装置付きノンステップバスを計画通り25両導入し、在籍車両に占める低公害バス比率を96.4%、低床バス比率を90.2%とした。</li> <li>・現行のバスシステムに対し、他社製のLED表示器の互換性について確認するとともに更新機器の仕様を決定し、令和3年度の予算を確保した。</li> </ul>
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

## 個別計画概要

番号	1-(2)-④
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	災害対応訓練の実施

## 担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	将来、再び大規模災害が発生した際にも、交通事業者として適切な対応を行い、お客様の安全を守ることが出来るよう、災害対応訓練を実施する。
--------	--

内容	東日本大震災の経験を踏まえ、独自災害対応訓練や集団災害対応訓練を定期的実施する。
----	--

## 令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業所においては独自に災害発生時の対応訓練を実施する。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックに向けた対策として、テロ対応訓練を実施する。</li> </ul>
------	---

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業所独自の災害対応訓練(非常用発電機の作動訓練、災害支援バイクの点検)を毎月随時実施した。</li> <li>・秋の全国火災予防運動の実施 延べ29名参加</li> <li>・バスジャック対応訓練は、テロ対応訓練(バスジャックと想定)として実施 70名参加</li> <li>・計画していた大雨対応伝達訓練・地震対応伝達訓練は、新型コロナウイルス感染防止対応等のため実施できなかった。</li> </ul>
------	--

評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	新型コロナウイルス感染症への対応等により業務繁忙となったため計画に遅れが生じた。今後はしっかりと準備を進め計画的な業務遂行に努めたい。

個別計画概要

番号	2-(1)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	市バスの利用促進に向けた取り組み

担当課係

経営企画課	企画係
-------	-----

目的・必要性	バスの利用促進に向けた様々な取り組みを、関係部局とも協力しながら進めることにより、増客及び増収を目指す。
--------	--

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市が実施する、公共交通利用促進に向けた取り組みである「せんだいスマート」との連携・協力や、交通局独自の取り組みである「学都仙台 市バス・地下鉄フリーパス」の一括販売などを積極的に展開する。</li> <li>・交通局内のプロジェクトチームを中心に利用促進策を検討し、交通局を挙げて増客に取り組んでいく。</li> </ul>
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と協力しながら、モビリティマネジメントを積極的に展開する。</li> <li>・「学都仙台 市バス・地下鉄フリーパス」の販売促進に向けて、オープンキャンパス等の機会を捉えて営業活動を行う。</li> <li>・定期券発売窓口の混雑緩和策の検討・実施。</li> </ul>
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月に、無料一日乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配布し、新たに富谷市、多賀城市、名取市の中学に通う中学3年生にも配付することで、さらなる利用促進を図った。</li> <li>・年度始めの定期券発売窓口の混雑緩和を図るため、①窓口混雑情報の提供②学生・生徒に対する定期券の早期購入勧奨③Twitterによる窓口待ち時間のリアルタイム配信など、各種施策を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が再開した6月に泉中央駅定期券発売所に臨時窓口を増設した。</li> <li>・令和3年3月に、高校の合格者説明会において「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」のパンフレット配布を実施した。</li> <li>・令和3年3月に、「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」の販売促進のため、地下鉄駅構内デジタルサイネージにPR動画を掲出した。</li> </ul>
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
----	----------------------

備考	
----	--

個別計画概要

番号	2-(1)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	新たな需要の捕捉と取り込み

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	需要を捉えた運行経路等の設定について検討し、事業の採算性向上を目指す。
--------	-------------------------------------

内容	・大規模集客施設の新設などにより生じる新たな需要を捉え、これを取り込むことで事業の採算性向上が期待できるバス路線の設定について検討を実施する。
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・大規模集客施設の新設等、大きな新たな需要が見込める機会の情報収集を行い、機会が生じた場合は、採算性を踏まえて新たなバス路線の設定について検討する。
------	--

事業実績	大規模集客施設等の対象案件がなかった。
------	---------------------

評価	取り組みの対象案件がなかった
----	----------------

備考	
----	--

個別計画概要

番号	2-(1)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	運賃制度及び運賃水準の検討

担当課係

経営企画課	企画係
-------	-----

目的・必要性	運賃制度・運賃水準の見直しにより、収益性、採算性の改善を目指す。
--------	----------------------------------

内容	・収支の状況を踏まえながら、運賃制度や運賃水準のあり方について検討し、その見直しを進める。
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・消費税率引上げの影響等を踏まえて収支の状況を分析し、運賃制度や運賃水準のあり方について検討を行う。
------	--

事業実績	仙台市交通事業経営計画の策定を通じて、運賃改定の必要性を示すとともに、運賃改定の時期や値上げ幅について検討を行った。当該計画において、事業継続のために必要な増収を図るため、令和8年度に7%の運賃改定を見込んだ収支計画を示した。
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	広告料収入の確保

担当課係

経営企画課	営業推進係
-------	-------

目的・必要性	広告料収入の確保に向けた取り組みを進め、収益性の改善を目指す。
--------	---------------------------------

内容	・広告媒体の販売方法の工夫や認知度を高めるための取り組みなどにより、引き続き着実な広告料収入の確保に努める。
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス広告の全台調査の実施。</li> <li>・効率的なラッピングバスの販売。</li> </ul>
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス広告の全台調査は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</li> <li>・ラッピングバスの期中募集を細かく行い広告料収入の確保に努めた。※年間延べ台数 令和2年度909台(前年比8台増)</li> </ul>
------	--

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
----	--------------------------

備考	
----	--

個別計画概要

番号	2-(1)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	親しみの持てる市営バスへの取り組み

担当課係

経営企画課	営業推進係
-------	-------

目的・必要性	オリジナルグッズの作成・販売や大規模イベント等のタイアップなどを行うことにより、市営バスのイメージアップを図り、利用促進を目指す。
--------	---

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルグッズの作成、販売を実施する。</li> <li>・営業所等の施設を見学する「バス・地下鉄親子探検ツアー」を開催する。</li> <li>・大規模集客イベント等とのタイアップを行う。</li> </ul>
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・新型コロナウイルス感染症の影響を十分に踏まえつつ、可能な利用促進策を見極め、実施する。
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種集客イベント、バス・ちか祭りは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</li> <li>・S-style誌面とのタイアップにより、路線バス沿線のお出かけスポット紹介のほか、川内営業所の取材記事を掲載した。</li> <li>・「バス・ちか チアフルプロジェクト」受賞作品を掲出した車両を運行した。</li> <li>・例年交通局グッズの販売を行っている宮城バスまつり等は中止となったが、「トムとジェリー展」とのタイアップにより、交通局グッズを販売した。</li> </ul>
------	--

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	資産の有効活用

担当課係

業務課	庶務係
財務課	会計係

目的・必要性	バス事業資産の有効活用などを進め、さらなる収入の確保を目指す。
--------	---------------------------------

内容	・遊休不動産の貸付などの新たな有効活用策について検討を行う。
----	--------------------------------

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・バス営業所及び木町通・新寺駐車場などバス事業資産の有効活用を継続的に進めるとともに、その他のバス事業資産や遊休不動産の新たな有効活用策についても検討を行い、可能なものから随時実施する。
------	---

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木町通・新寺駐車場のバス駐車用区画について、バス11台分の区画の有償貸付を行った。</li> <li>・前年度に引き続き、バス営業所等の敷地を自動販売機の設置場所として有償貸付した。</li> <li>・当初予定していた貸付に加え、南吉成回転場跡地及び岡田出張所跡地の一部を駐車場用地として新規で貸し付けた。</li> </ul>
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
----	----------------------

備考	
----	--



個別計画概要

番号	2-(2)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	人件費の抑制に向けた取り組み

担当課係

総務課	人事係・労務係
-----	---------

目的・必要性	今後10年間で現在在籍している正職員乗務員の8割近くが定年退職する状況を踏まえつつ、バスの運行に要する費用のうち大きな割合を占める人件費を抑制することにより、事業経営のさらなる効率化を図る。
--------	---

内容	・適正な定員管理、会計年度任用職員の活用及び効率的なダイヤ編成などにより、人件費の抑制を目指す。
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の事業規模等を考慮した必要乗務員数を精査し、適切な採用手法や採用規模により人材を確保する。</li> <li>・労働条件の見直しについては検討を進め、可能なものから実施していく。</li> </ul>
------	--

事業実績	将来の事業規模等も踏まえた適正な人員体制を考慮しつつ、最低限必要な人員が確保できた。また、具体的な労働条件の見直しまでには至らなかったものの、バス運転手等の人件費将来推計を実施した。
------	---

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	管理の委託の継続的な活用

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	管理の委託の活用により、引き続き運行経費の圧縮を図る。
--------	-----------------------------

内容	・引き続き、経費削減に資する管理の委託の活用を図っていく。
----	-------------------------------

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の委託規模(概ね事業量の2分の1)を維持しながら、将来の収支改善に資する管理の委託のあり方を検討する。</li> <li>・今年度期限を迎える白沢出張所の管理委託について、次年度以降の委託先の選定を行う。</li> </ul>
------	---

事業実績	白沢出張所の委託契約を更新した。(令和3年度～令和7年度) 事業者選定にあたり競争性を確保するため、県外事業者への受託意向調査方法を検討し、調査項目の整理を行った。
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
----	----------------------

備考	令和3年度に受託意向調査を実施予定。
----	--------------------

## 個別計画概要

番号	2-(2)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	利用状況に応じた運行の効率化

## 担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	路線バスの系統・区間の利用状況を詳細に分析し、減便等を行うことにより、運行の効率化を図り、持続可能な経営体質の構築を目指す。
--------	--

内容	・利用状況の詳細な分析を行い、減便等によって運行の効率性向上を目指す。
----	-------------------------------------

## 令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・バス事業の効率性・採算性を改善するため、現行ダイヤの利用状況の詳細な分析を行い、次回ダイヤ改正において減便等による運行サービスの効率化を図る。
------	--

事業実績	令和3年4月のダイヤ改正において、収支改善に向け、需要動向(乗客数)に応じて事業量2.6%に相当する減便を行った。
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	バス車両にかかる投資額抑制

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	バス車両に係る投資額を抑制することにより、事業運営経費の圧縮を図る。
--------	------------------------------------

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中古バス車両の活用により、必要車両数の確保に努めながら投資額の抑制を図る。</li> <li>・保有車両全般にわたる状態調査に基づき、フレームの腐食修理を行い、適切な車両の保全により、計画的な車両更新に努める。</li> </ul>
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資額の抑制を図りながら、必要車両数を確保するために中古バス6両を導入する。</li> <li>・車両状態調査及び腐食修理の実施する。</li> </ul>
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は中古バス車両の購入はできなかったが、前年度購入した大型1両及び小型車4両の車両を改造し路線に導入した。</li> <li>・車両状態調査の結果に基づき、フレームの腐食修理など、適切な車両保全を実施した。</li> </ul>
------	--

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	施設の効率的な管理・更新

担当課係

財務課 業務課	契約管財係 庶務係
------------	--------------

目的・必要性	施設の改修や更新の計画的な実施により、施設の長寿命化を図るとともに、長期的視点から維持管理経費の節減を目指す。
--------	---

内容	・営業所や出張所及び整備工場の建築物や、その他付帯設備などの施設の状況調査を行い、資金計画も考慮しながら適切な改修・更新計画を策定するとともに、これを着実に実施する。
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・自動車運送事業施設改修・更新計画に基づき、川内営業所管理棟外の建替に伴う基本計画の策定を行い、基本計画完了後引き続き基本設計業務へ着手を行い、翌年度以降の工事に向けた準備作業を行う。 ・他営業所の改修・更新計画についても、同改修・更新計画に基づき今後の工事に向けた準備作業を行う。
------	--

事業実績	川内営業所管理棟、整備工場等の建替に伴う基本計画策定完了後に、引き続き基本設計業務を実施し完了した。 白沢出張所管理事務所他更新基本計画を策定。
------	---

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(本局)

担当課係

財務課	契約管財係
-----	-------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を勧めることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
--------	---

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。</li> <li>・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。</li> </ul>
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・交通局本局庁舎において、冷暖房機器の適正な運転管理と室温管理を徹底するなど、設備の適切な使用により、令和元年度の使用実績を下回るよう努める。
------	---

事業実績	交通局本局庁舎について、電気年間使用量は令和元年度の使用実績を下回り目標達成したが、ガス・水道年間使用量は令和元年度の使用実績を上回り目標達成できなかった。 (令和元年度比 電気使用量 2.4%減、ガス使用量 22.7%増、水道使用量 9.7%増)
------	---

評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
----	----------------------------

備考	原因としては、平年気温と比べ夏季の高温および冬季の低温による冷暖房機器の運転の増大によるガス使用量の増加、ならびに新型コロナウイルス感染症対策による手洗頻度の増加による水道使用量が増加したものと考えられる。ガス使用量は、室温、外気温を確認しながら適切な空調管理に努め、水道使用量は、適切な水道使用の呼びかけを行う。
----	---

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(営業所・出張所分)

担当課係

業務課	庶務係・指導係
-----	---------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を進めることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
--------	---

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。</li> <li>・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。</li> </ul>
----	---

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス営業所・出張所の光熱水費について、不在時の消灯・適正な室温管理・節水等を徹底することにより、令和元年度の使用実績を下回るよう努める。</li> <li>・エコドライブ強化月間に合わせ「グリーンecoだより」を発行し職員の意識向上を図るとともに燃料使用量の節減を図る。</li> </ul>
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス営業所・出張所について、ガス年間使用量は、令和元年度の使用実績を下回り目標達成したが、電気・水道年間使用量は令和元年度の使用実績を上回り目標達成できなかった。(令和元年度比 電気使用量 10.4%増、ガス使用量 60.7%減、水道3.1%増)</li> <li>※令和元年度末に霞の目営業所の冷暖房設備をガスを使用するGHP方式から電気を使用するEHP方式に更新したため、ガス使用量は減少し電気使用量は増加した。</li> <li>・バスの燃費は前年度実績より若干改善した。 ※年間実績…(R1)2.35km (R2)2.38km +1.3%</li> <li>・エコドライブ強化日(毎月第1水曜日)の点呼時に乗務員にエコドライブの指導を行った。</li> <li>・発行月は遅れたが、予定どおり「グリーンecoだより」を年2回発行した。</li> </ul>
------	--

評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
----	----------------------------

備考	電気使用量増加の主な原因は、令和元年度末に霞の目営業所の冷暖房設備をガスを使用するGHP方式から電気を使用するEHP方式に更新したためである。また、水道使用量の増加については、新型コロナウイルス感染症対策による手洗頻度の増加によるものと考えられる。令和3年度の光熱水費の節減目標を「前年度の使用実績を下回る」と定め既に全営業所・出張所に通知済みであるが、今後も「会議室等の不在時の消灯の徹底」「適切な室温管理」「コロナ予防以外の節水の徹底」「過剰な洗濯機の使用を避ける」等の呼びかけを行っていく。
----	--

個別計画概要

番号	2-(3)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	乗務員の安定的な確保と育成

担当課係

総務課 業務課	人事係 指導係
------------	------------

目的・必要性	事業を安定的・継続的に持続させるため、乗務員の安定的な確保と育成、資質向上を目指す。
--------	--

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型自動車二種免許を有していない若年層を採用し、免許を取得させる養成制度を継続する。</li> <li>・運転操作や接遇等に関する実践的な研修の実施により、職員の資質向上を図る。</li> </ul>
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正職員採用選考の実施</li> <li>・バス運転手採用試験(会計年度任用職員)の実施</li> <li>・バス運転手教習生採用試験(会計年度任用職員)の実施</li> <li>・職員に対する各種研修の実施</li> </ul>
------	--

事業実績	<p>【運転手採用】</p> <p>・正職員 23名 ・新規採用会計年度任用職員(免許あり) 4名 ・バス運転手教習生(免許なし) 14名          令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、就職イベントが中止になるなど、広報が制限されてしまったが、事業量に必要な人数を確保することができた。</p> <p>【各種研修実績】</p> <p>接客サービス向上(CS)研修(15回/178名)／正職員採用時研修(23名)／事故削減プロジェクト研修(15回/175名)／るーぷる仙台運休に伴う乗務員研修(11名)／副所長・運管研修／指定業務職研修(41名)</p>
------	--

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
----	--------------------------

備考	
----	--



個別計画概要

番号	2-(3)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	業務への意欲を高める取り組み

担当課係

総務課 業務課	総務係・人事係 指導係
------------	----------------

目的・必要性	職員の意欲や意識を向上させるための様々な取り組みを進め、職員のモチベーションを高め、サービスの質的向上を図る。また、職員への情報伝達を活性化し、風通しの良い職場環境を構築する。
--------	--

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善意見提案制度や業務改善に向けたプロジェクトチームなど様々な方法を通して、職員からの意見を事業運営に反映させていく。</li> <li>・接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員の表彰を実施する。</li> </ul>
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善意見提案制度を活用し、職員の提案・意見を事業運営に反映させる。</li> <li>・業務改善プロジェクトチームを設置し、所属横断的に課題解決を行うことで乗客誘致、安全運行の向上、経費削減等に取り組んでいくとともに職員の業務に対する意欲向上を図る。</li> <li>・局報「りょうりん」の内容を充実させるとともに、発行回数を増やすことにより、職員への情報伝達の活性化を図る。</li> </ul>
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善意見提案件数 計20件(優秀賞2件、努力賞9件、提案活動賞1件)</li> <li>・業務改善プロジェクト総務部会 計7回開催</li> <li>・業務改善プロジェクト自動車部会 計8回開催</li> <li>・年間接遇優秀職員表彰(管理者表彰) 10名</li> <li>・職員市バスモニター表彰 2回実施 161名表彰</li> <li>・局報「りょうりん」計12回発行(前年比2回増)</li> </ul>
------	--

評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
----	----------------------

備考	
----	--

個別計画概要

番号	2-(3)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	職員の意識の向上と働きやすい環境づくり

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	職員の意識の向上と働きやすい環境づくりに向けた取り組みを進めることにより、一人ひとりが心身ともに充実した状態で働けるような環境づくりを目指す。
--------	---

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業所と管理部門の職員との意見交換会を実施する。</li> <li>・安全確保や健康管理等について、日頃から情報交換がしやすい職場環境づくりを進める。</li> <li>・コンプライアンス遵守に向けた職場内研修を実施していく。</li> </ul>
----	--

令和2年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業管理者等と乗務員との意見交換会の実施(各営業所1回)</li> <li>・安全統括管理者等と乗務員との意見交換会の実施(各営業所1回)</li> <li>・営業所長等と乗務員との意見交換会(職場研修会月1回程度開催)</li> </ul>
------	---

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業管理者等と乗務員との意見交換会を実施(各営業所1回、38人参加)</li> <li>・安全統括管理者等と乗務員との意見交換会を実施(各営業所1回、39人参加)</li> <li>・観光課・自動車部各課と一ぶる仙台乗務員との意見交換会(実施)</li> <li>・営業所長等と乗務員との意見交換会を実施(職場研修会月1回程度開催)</li> </ul>
------	---

評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	